

人事 Lab ヒトコトラボ

Vol.8 ~自分の子どもの就活が気になる？
保護者のホンネを聞いてみた~

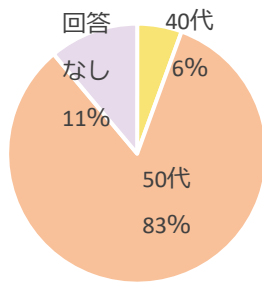
株式会社静岡新聞社 柴拓巳

プロフィール：2021年新卒で入社した社会人3年目。Uターン就職組。地域ビジネス推進局生活情報部に所属し、新卒企画全般に携わる。高校時代はバレー部に所属。身長186cmなのにポジションはセッター…。夏はサッカー場・冬はスキー場によく出没する。

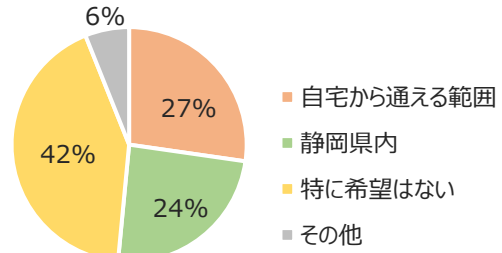
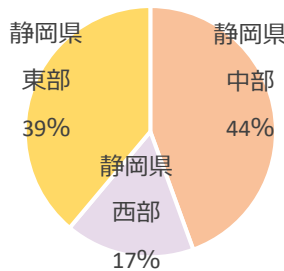


静岡新聞社では、大学（院）、短大、専門学校の新卒生を対象にした就職情報サイト「新卒のかんづめ」を運営し、Webやイベント、新聞などで情報発信をしています。その活動の一環として「新卒のかんづめ保護者LINE」を運営し、LINEを通じて保護者の方への情報発信や個別のお悩み相談等を行っています。今回の「ヒトコトラボ」では、保護者の方が抱く悩みや就活市場に於ける保護者の重要性に関してご紹介させていただきます。アンケートは2023年6月下旬にLINEを通じて実施致しました。

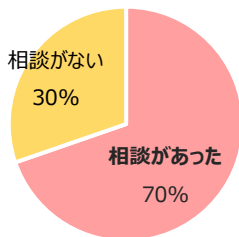
回答者データ



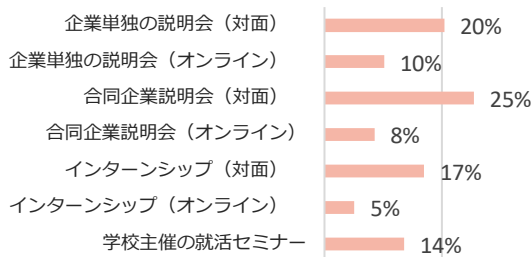
お子さまの就職先への希望



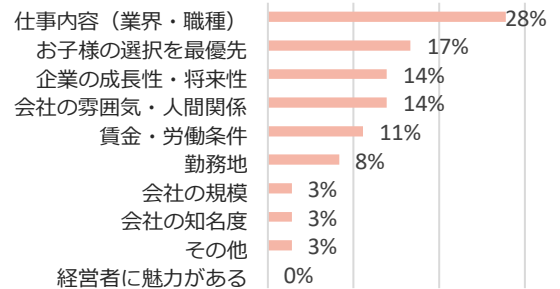
■ お子さまから就活に関する相談がありましたか



■ お子様に参加してほしい又は参加して良かったもの (複数回答可)



■ 就職先のアドバイスをする際に保護者の方が重視するポイント (複数回答可)

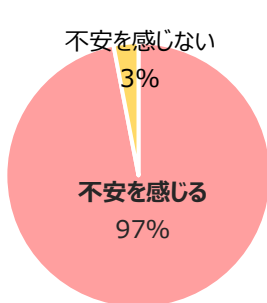


【相談内容】・静岡県の企業情報
・インターンシップや就活の進め方やスケジュールなど

【会社規模より仕事内容】

お子様に就職先のアドバイスをする際に重視するポイントは、会社規模が3%に対し、仕事内容が28%と高い結果になりました。また、お子様の選択を最優先と答えた方は17%、次いで企業の将来性・会社の雰囲気なども高い値を記録しています。

■ お子様の就職活動について不安を感じますか



【不安に感じていること】

- ・現状がどうなのか分からない。
- ・例年に比べてスケジュール的に早い。インターンシップが選考に含まれること。
- ・自分自身の就活とはルールも違い、将来性のある業界が思い浮かばない。
- ・就職活動に全くやる気が感じられない。準備をしていない。
- ・自分はバブル期の就職活動だったので、今の就職活動について全くアドバイスができない。
- ・応援してあげたいが何をどの程度口を出していいのかわからない。
- ・インターンシップが早期就活の要になる中、大学のプログラムなどで忙しく中々参加出来なかった息子の就活に不安を感じた。
- ・就職できるかどうか。
- ・入社した後、大きなギャップが無いかどうか。

保護者の方々は、お子様の就職活動に対して様々な不安を感じています。7割超の保護者が子供から就活相談を受けているものの、現代の就活に於ける知識が乏しく、関与するにもどれ程踏み込むべきなのか、悩まれている親御さんが多い印象です。就活には試験の解答の様に明確な答えがない為、親子間に「正解の違い」が生じがちですが、なるべく子供の意思を尊重し見守ることをお勧めしています。一方、採用側の視点として、年々親の影響力が強まる現在の新卒市場では、学生のみならず親世代へのアプローチの仕方も検討すべきと言えるでしょう。

問い合わせ：静岡新聞社 地域ビジネス推進局 生活情報部「[新卒のかんづめ](#)」 TEL:054-284-9018
キャリアサイト「[しずおか仕事図鑑](#)」2023年4月オープン！ URL:<https://www.shizuokashigoto.com>

